

# 第10章 高齢者福祉

## 1 老人ホーム定員の推移 (表1、図1)

老人ホームの定員は、平成2年度には3,107人であったが、平成29年度には14,362人と大きく増加している。

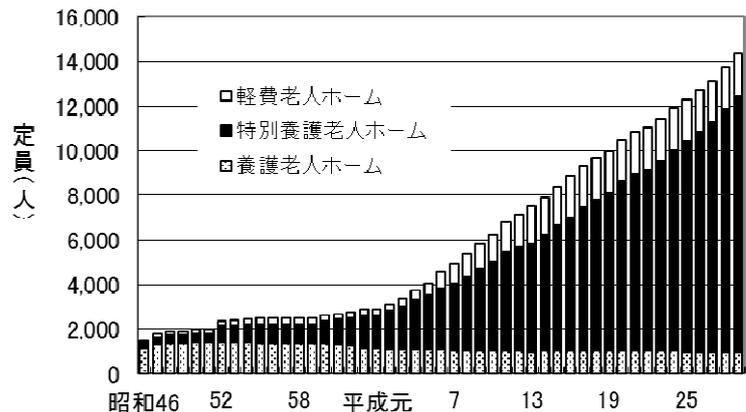
内訳をみると、特別養護老人ホームの伸びが際立っており、昭和46年度の200人から、平成29年度には11,516人とおよそ58倍に、老人ホームの定員総数に占める割合も約13%から約80%になっている。また、軽費老人ホームについては、平成3年頃からケアハウスの急増により大きく伸びたが、近年は横這いの状態である。

表1 老人ホーム定員の推移

(各年度未現在)

年次	養護老人ホーム	特別養護老人ホーム	軽費老人ホーム
平成29年	960	11,516	1,886
28	960	10,898	1,886
27	970	10,274	1,866
26	990	9,870	1,876
25	990	9,425	1,876
24	1,040	8,998	1,876
23	1,080	8,479	1,876
22	1,080	8,062	1,876
21	1,080	7,873	1,876
20	1,080	7,535	1,876
19	1,080	7,036	1,876
18	1,080	6,727	1,876
17	1,080	6,377	1,876
12	1,080	4,617	1,461
7	1,080	2,977	900
2	1,120	1,717	270
昭和60	1,340	1,013	270
55	1,340	863	270
50	1,372	430	185

図1 老人ホーム定員の推移



## 2 後期高齢者医療費の推移 (表2、図2)

県内の後期高齢者医療対象者数は、平成14年度をピークに減少傾向にあったが、平成20年度に上昇に転じた。平成29年度の1ヶ月平均対象者数は、275,880人、880人となっており、10年連続の増加となった。

1人当たり1ヶ月平均医療費は、平成29年度は72,442円となっており、前年度に比べ334円増加した。

また後期高齢者医療費の総額は、平成11年度まで増加傾向にあり、平成20年度まではほぼ横這いで推移していたが、平成21年度以降は増加傾向となっている。

注：表2・図2ともに平成20年度の後期高齢者医療制度の発足に伴い、平成19年度以前は老人医療制度、平成21年度以降は後期高齢者医療制度、平成20年度は2つの制度の合算である。

表2 後期高齢者医療費の推移

(各年度)

年次	老人・後期高齢者医療対象者数(1か月平均)	1人当たり1か月平均医療費(円)	老人・後期高齢者医療費(百万円)
平成29	275,880	72,442	239,825
28	268,518	72,108	232,347
27	261,279	73,282	229,766
26	255,333	71,245	218,293
25	252,372	71,400	216,231
24	247,932	70,197	208,848
23	242,837	69,559	202,698
22	237,655	68,405	195,089
21	232,046	66,505	185,186
20	226,210	64,610	175,384
19	223,809	66,473	178,525
18	233,485	62,997	176,507
13	266,555	55,597	177,837
12	256,117	55,759	171,366
7	206,061	54,793	135,487
2	169,669	42,433	86,395

図2 老人・後期高齢者医療費の推移

